

ななかま

気配消す 鷲の林の 根競べ
自己中は ターキーも同じ 師走なり

行事予定表

12月21日	クラス委員会	13:00
1月4日	11日	書き初め
1月11日	プリンストンコース、高等部入学説明会	
1月18日	公開授業研究会	書初め展示会
	Adult Class Spring Start	
1月25日	JASL 秋季終了	
2月1日	JASL 春季開始	
2月8日	新1年入学説明会	漢字検定
2月15日	如月祭	
2月22日	入園説明会	

学芸会・学習発表会を終えて（お礼）

余裕のない日程の中を、無事大成功で会を終えることができました。皆様には、ご協力をありがとうございました。

子どもたちの演技も練習とは見違えるほどに立派でしたし、保護者の黒子の演出も見事でした。

舞台の進行も円滑でした。背景や効果音などが容易にネットから入手できるようになっていることもあって、音響係の皆さんにそれらを適切に入れ込む難しい操作を強いることになりました。それにもかかわらずほぼ完璧にやりとげた係の皆さんに拍手を送りたいと思います。大道具小道具も一度きりの出番ではもったいないような素晴らしい出来栄でした。

これらの行事を通して思うことは、本校では保護者の積極的な関わりがあることと、保護者に幅広く人材がそろっているということです。適材適所の働きに感謝申し上げます。



空を見上げて

冬は星座がにぎやかな季節です。オリオンや大犬や牡牛などすぐにそれとわかる星座たちが空いっぱいに広がります。その風景の中には星雲や星団もたくさんあり、双眼鏡を使えば肉眼で見ると数倍の数の星たちを見ることができます。

私たちの日常では、ややもすれば変化に乏しく気分がふさがることも多くあります。そんな現実が、実は無限の宇宙の中のほんの小さな営みに過ぎないことを、雄大な夜空がときに気づかせてくれるのです。年の瀬に空を見上げて、来し方を振り返り、**新年の決意**をしましょう。

プリンストン日本語学校新聞



平成26年度 No.31号

平成26年12月21日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

「バラ色の人生」

諫山 智花

皆さんはこんな風に言われた事があるだろうか。「あの子ってすごく可愛いよな」とか、「えー。あの子ってチョーかっこいい」。それらは、学校でもごく一部のリアルに充実している奴、いわゆるリア充と呼ばれる、人気者だけに使われる特別な言葉なのである。学校も健康も友達付き合いも恋愛も、全てが充実してこそリア充なのである。

さて、そんなリア充にはどうしたらなれるだろう。それをこれから高校生の観点から伝えようと思う。まず、努力である。やはり自分を磨き努力を怠らぬによりよく見せればリア充に近づく事ができるはずだ。何においても努力は最大の武器であり、じっくりプランを練って目標を定める。あとはその目標に向かってまっしぐらだ。

次に友情。習い事や部活などで人と関わり、積極的に話すことで、友達のコネクションを広げられる。さらに、友情を深めるためには、細かい気遣いや空気を読むことも大切である。それらをする事で、沢山の人間から信頼され、友達のコネクションが広く形成される。友達の輪に異性が入ることにより、それはやがて、リア充の人間が持つモテモテのコネクション、モテションになる。しかしそれにはリスクがあり、嫉妬渦巻く、腹黒い奴らにはご用心。

そこで最後に、勝利が重要だ。いくら友情が大切と言ってもリア充になる過程で邪魔をしたりライバルがいたりするだろう。そのような人達に打ち勝つ強さや度胸も世の中を上手く渡るためには不可欠だ。この時、注意しなければいけないことは、決して勝利したことで有頂天になったり悪い印象を負けた相手に与えたりしてはならない。悪い印象は恨みを買って他の友達にも感染症のようにつつていく可能性を産むだろう。努力、勝利、友情。これらはあの大人気漫画雑誌、「ジャンプ」の三大原則である。

しかし、リア充ではない非リア充が全員灰色で残念な人生を送っているわけではない。非リア充は自分の本音を気の合う友達と話すことができ誰の目も気にすることなく、自分の好きなことを好きなように好きなだけする事が可能だというメリットがある。何が彼氏だ。何が彼女だ。クリスマスに家族や友達と居ても、バレンタインにあげるチョコは友達だけだって、友達が少なくていいじゃないか。私は「ジャンプ」さえあればいいのだ。そこで、あえてこの場で大声で言おう。

「非リア充、万歳。」